
2社「グリーン経営」の認証を取得 東海運(株)・平和物流(株)

協同組合物流ネットワーク徳島(栗飯原一平理事長 14社)では、組合員や関係会社に「グリーン経営(環境負荷の少ない事業運営)認証制度」の取得を呼びかけ、交通エコロジー・モビリティ財団(国土交通省の外部団体)の指導のもと、取得準備を進めておりましたが、10月29日に東海運(栗飯原一平社長)の3事業所と平和物流(栗飯原一平社長)が先陣を切って認証を取得しました。

現在、認証制度に取り組んでいるのは、堀江急配(黒田和夫社長)、徳島トラフィックサービス(植上孝志社長)、共栄運送(久保和夫社長)、加茂谷運送(谷章次社長)、志満や運送(湯浅恭介社長)、にしき運送(麻植泰則社長)、ますや急配(辻英人社長)、古川運送(古川博社長)、徳島トラック(森本哲行社長)、大輪総合運輸(森本英昭社長)、大坪運輸(久米敏勝社長)の11社。

また徳島県内では、既に四国名鉄運輸 徳島支店(関谷和久社長)が認証を取得しています。

グリーン経営認証制度は、地球温暖化対策の一環として、二酸化炭素(CO₂)排出量の削減等を推進するため、アイドリングストップや低公害車の導入、従業員への環境教育等による環境改善の努力を客観的に証明することにより、トラック業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

『とくしまトラック情報 11月号』より

